



大樹のこころ

仮設校舎の建築開始

運動会が終わり、ほっと一息といった大樹寺小。と言いたいところですが、また新しいプロジェクトが始まりました。それは「中校舎改築工事」です。大樹寺小の校舎は、岡崎市内でも古い部類に入ります。そこで市は、本校の職員室などが入っている中校舎を「今後35年先を見据えた」最新式の校舎に生まれ変わらせる計画を立ててくれました。これは楽しみです。

しかし、この工事。簡単にできるものではありません。中校舎を工事するとなると、現在使用している教室が使えなくなってしまいます。となると子供たちの行き場がなくなってしまいます。そこで、工事期間中の教室を確保するために「仮設校舎」が必要になってきます。運動会の終わりを合図に、この仮設校舎の建築がスタートしました。仮設校舎と言っても、小さなプレハブではありません。4教室もある巨大な校舎。かなり大掛かりな工事となります。

これまで岡崎市の施設課や建築業者から、何度も図面上での説明は受けてきました。しかし実際に工事が始まると、大規模工事の有様にびっくりです。11月1日(水)には、南門から大型トラックや重機がどんどん運動場に入ってきました。そして仮設校舎の基礎を作るために、運動場を掘削し始めました。工事現場に子供が入ると危険なので、周りに柵を立てていきます。このフェンスが運動場の北側半分以上の位置に設置されます。これによって子供たちが体育の授業や放課で遊ぶ場所が、かなり手狭になってしまいました。

この仮設校舎の建築が2学期いっぱい続きます。完成後は、冬休みに校長室や職員室などが仮設校舎へ引っ越しをします。3学期に中校舎の校長室・職員室・放送室などの工事が行われる予定で、春休みまでの工期となります。そして令和6年度の4月からは、普通教室の工事が始まります。現在の計画では、令和6年度の2学期まで工事が続くことになっています。今から約1年間に及ぶ、長い長い我慢の生活が続きます。しかし、これも新校舎のために仕方ありません。保護者の皆様にも駐車場の関係で、ご迷惑をおかけすることになります(今は従来通り使えますが)。詳細につきましては、後日お知らせいたします。



11月2日(木)に brassバンド部がオータムコンサートを開いてくれました。ディズニーメドレーの演奏が体育館に響き渡り、全校の子供たちが爽やかな気持ちになりました。部活動の練習時間が削減される中で、これだけ素敵な演奏をしてくれた brassバンド部のメンバーに感謝です。音楽の素晴らしさを教えてくれました。